

「中国・アジア」ダイジェスト

2013.12.16-12.27

*記事は東京発行・最終版

CHINA

12月16日(月)

THK、500億円投資
直動案内 / 無錫工場を増設

THKは、2014年度から3年間に最大500億円を設備投資して中国や新興国で生産能力を増強する。無錫市で直動案内を生産する工場を増設する。常州市内でも工場新設を検討。(7面)

伊藤忠「アンテプリマ」に出資
香港HDと合意

伊藤忠商事は、香港・フェニックスグループHDと、傘下で衣料品小売り・卸事業のASFへの出資で合意した。ASFは高級婦人服「アンテプリマ」に加え、衣料品小売りなどを展開。(16面)

12月17日(火)

カシオ、中国2版社を統合
電卓・デジカメ/腕時計

カシオ計算機は、中国の販売会社2社を1社に統合する。電卓やデジタルカメラと腕時計を一本化して営業やマーケティングを強化する。2015年度に売上高500億円を目指す。(3面)

ルノー、中国に工場
東風と合併 / 8億7000万計投資

仏ルノーと中国・東風汽車集団は、折半出資する合弁会社「東風ルノー汽車」に調印した。ルノーは主要10社で唯一、中国に生産拠点を持っていなかった。約8億7000万計投資。(時事=3面)

香港・東亜銀行と提携
東海東京FHD / 投信など

東海東京フィナンシャルHDは、香港



ミャンマーのテイン・セイン大統領(前列右)が「スズキ歴史館」を訪問(案内する鈴木修スズキ会長兼社長=前列左)=17日付

最大の独立系地場銀行・東亜銀行と業務提携した。金融情報の交換、投資信託などで協業。東亜銀行は香港だけでなく、中国本土各地に拠点を展開。(15面)

12月18日(水)

三菱樹脂、深圳に販売拠点
中国製スマホ向け / セパレーター

三菱樹脂は、広東省深圳市にリチウムイオンバッテリー用セパレーターを拡販するための事業所を開設した。中国製スマートフォンなどの生産増加に伴って需要拡大が見込まれる。(13面)

12月19日(木)

腹膜透析、中国社に技術供与
JMS / 身体負担小さく

ジェイ・エム・エスは、山東省の華仁薬業と腹膜透析療法に使う医療機器、医

薬品でライセンス契約。腹膜透析システムの技術情報を供与。血液透析に比べ身体への負担が小さい。(10面)

12月20日(金)

環境装置、中国などから受注
大川原製作所 / アジアで攻勢

大川原製作所は、アジアで環境装置の熱風式乾燥装置と付帯設備を相次いで受注した。中国湖北省鄂州市、インドネシアPTスメルティング、韓国KCFフレッシュから各1台。(6面)

12月23日(月)

新興国用大型トラック中国投入
UDトラックス / 「クエスター」

UDトラックスは、中国で新興国向け大型トラック「クエスター」を2014年4

月にも投入する。親会社ボルボと現地メーカーの東風汽車の合弁会社「東沃汽車」で製造・販売する。(5面)

三菱重工、ディーゼル量産
上海ディーゼル / 1000kW級年1500台

三菱重工業は、中国・上海ディーゼルと折半出資で設立したディーゼルエンジンの生産・販売会社が量産を始めた。量産開始機種は発電出力1000kW級の発電設備向け。年1500台を計画。(6面)

岩崎電気、健康市場に進出
空気清浄機 / 学校・病院など

岩崎電気は、中国の健康市場に進出する。空気を殺菌・滅菌する空気循環式紫外線(UV)清浄機「エアリアル」を投入。学校や病院、公共施設などを中心に販売を進める。(7面)

日清食品、香港に新工場
「出前一丁」/ 消費拡大

日清食品HDは、中国で即席めんを生産能力を増強する。香港土会社が新工場を建設、2016年7月の稼働を目指す。香港で生産する即席めん「出前一丁」の消費が中国で拡大。(10面)

12月24日(火)

中国移動が「iPhone」
アップルと合意

米アップルと中国最大手・中国移動は、スマートフォン「iPhone」の販売で合意した。NTTドコモに続く新たな大口の供給先。中国の三大携帯会社で唯一扱っていなかった。(時事=2面)

中国の大気環境改善で合会
環境省 / 8都都市・4団体

環境省は、中国の大気環境改善に向け、8都都市や4団体と合会を開く。飛来する「PM2.5」をはじめとする大気汚染への対応や協力について、情報交換や今後のあり方を検討。(7面)

が開幕した。産業交流展として、日本の先進技術などを紹介。インドネシアの豊富な天然資源と日本の技術との融合が進む。(深層断面=16面)

DWDM、インドネシア納入
富士通 / 海底ネット用每秒100ギビット

富士通は、インドネシア国内の海底ネットワークシステム「ジャクトウラデマ」向けに高密度なDWDM伝送装置を納入し、回線1波長当たりの容量を10倍の每秒100ギビットに引き上げた。(7面)

12月24日(火)

伊藤電機、インドに販社
車載用電子部品 / 日系向け

伊藤電機は、インドに車載用電子部品の販売会社をハリヤナ州グルガオン市に2014年3月設立。日系自動車部品メーカーが進める現地調達ニーズに応える。上海、タイなどに続く5カ所目。(4面)

三菱電、東南ア通信機器と提携
海外売上高10倍狙う

三菱電機は、光海底ケーブル伝送機器など通信システムの海外売上高を、2017年度約10倍の300億円へ増やす。東南アジアで現地の通信機器メーカーや販売代理店と提携、底上げを狙う。(6面)

12月25日(水)

コベルコ印子会社と提携
オカダイオン / 建機アタッチメント

オカダイオンは、コベルコ建機のインド子会社と建機用アタッチメントの現地販売で提携した。インドのディーラー20社を通じてショベルと一体で販売し、サービスも提供する。(3面)

日揮、カンボジアで病院
プノンペン / 救命救急センター

日揮は、カンボジアで病院事業を始める。プノンペン市に病床数50床の病院を2015年に開院する。脳神経外科が中心。救命救急センターとして、国内での病院建設、運営ノウハウを生かす。(5面)

三菱重工、ガスタービン受注
韓国電力技術 / 中核機器

三菱重工業は、韓国電力技術から「M501」形ガスタービンなど天然ガス焼き熱供給発電設備(CHP)の中核機器を受注。DSパワーがソウル南方50%の京畿道烏山市にCHPを建設。(6面)

インドネシアに販社
ユニチカ / 繊維を開拓

ユニチカは、インドネシアに販売子会社を2014年度内に設立する。衣料繊維のほか、複合繊維などの産業資材を現地企業向けに展開する。生産拠点を持つが、営業力を強化する。(8面)

三菱商事、ベトナムに石炭火力
1400億円 / 出力120万kW

三菱商事は、ベトナム電力公社から石炭火力発電所の建設工事を受注した。韓国・斗山重工業と、ベトナムのエンジニアリングとの共同受注。受注額は約1400億円。合計出力120万kW。(9面)

大阪ガス、タイで天然ガス
合弁会社設立 / 産業向け

大阪ガスは、タイ・バンコクにエネル



カンボジアの第1工場で現地従業員にソファ製作を指導(三吉)

中国・カンボジアで業務用家具
三吉が増産 / 上海加工会社と提携

三吉は、中国とカンボジアで業務用家具の生産を拡大する。上海の現地家具加工会社と資本提携。中国での生産体制を拡充するほか、カンボジアで自社第2工場を稼働する。(15面)

12月25日(水)

三菱商事、水産加工で合弁
サーモン・エビ / 現地で販売

三菱商事は、中国の水産会社・浙江大洋世家股份有限公司と合併で、浙江省に水産加工販売会社を設立した。三菱商事が養殖を手がけるサーモンやエビ、マグロなどを中国の主要都市で販売。(9面)

12月26日(木)

リンナイ、上海に新工場
給湯器など / 年産2倍

リンナイは、上海市にガス機器の工場を新設し2015年9月に稼働する。現地年産能力は給湯器・ボイラが100万台、コンロが50万台で、それぞれ約倍増。所得増加などでガス機器需要が増加。(11面)

12月27日(金)

免制震機器、中国で初受注
新日鉄住金エンジニアリング

新日鉄住金エンジニアリングは、中国

今回は -
年末年始の特別編成のため「中国・アジア ダイジェスト」面の今回は1月20日(月)に掲載します。

TELOP

成都市・武漢市で消費者金融
SMBコンシューマー(20日17面)

日立造船、上海を現法に
全事業を展開(25日6面)

ひと

上海 - 成長に陰りナシ



「上海中心部では、食料品や百貨マンスションの価格が上がってきている」と英エンジニアリング社長の山本俊英さん。現地法人のある上海で月の3分の1を過ごす。「近くでマンション建築が始まった。成長の鈍化が言われるが、上海中心部では感じられない」。(17日=7面)

「原宿発」は人気が違う



「中国や東南アジアからの観光客の来店が目立つようになった」と、イーガイア社長の竹岡哲朗さん。スマートフォン向けのアクセサリ専門店が好調だ。中国で運営する携帯電話販売代理店でもアクセサリ販売を強化。「中国でも『原宿発』は人気が違う」。(25日=7面)

額は約270億円。台湾は中東、アジア・オセアニアからのLNG輸入が決まり受け入れ能力の増強が急務。(6面)

インドネシア高速鉄道調査
日本コンサルタンツなど5社

日本コンサルタンツなど5社は、国際協力機構が手がける「インドネシアジャワ高速鉄道開発事業準備調査(フェーズ1)」を受注した。ジャカルタバンドン間約140キロ。(9面)

カンボジアの電力計画受託
中国電力 / 需要の想定・電源開発

中国電力は、カンボジア電力公社から「電力マスタープラン改定」のコンサルティング業務を受託した。電力需要の想定、電源開発計画、送变电計画などの改定プラン策定を支援する。(9面)

TELOP

ラオスで販売・サービス
三菱自動車(16日5面)

ホーチミンに精密パネ営業所
アドパネクス(16日7面)

ベトナム投資開発銀行と協力
三井住友信託銀行(17日15面)

日産、フィリピンに販売合弁
ASEAN3倍50万台(19日5面)

ミャンマー銀行協と人材育成協力
三井住友銀行(19日17面)

住友ゴム、タイ増産先送り
2016年に変更(20日5面)

モルテン、タイ工場を増設
自動車部品第3工場(20日5面)

インドネシアで財務基盤を強化
ヤマハ発動機(23日5面)

デンソーに是正措置命令
韓国公取委 / 車用ワイパー(24日2面)

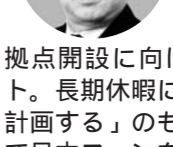
韓国・熱処理装置社に持分法適用
昭和鉄工(24日5面)

大和証券G、留学生枠拡大
ミャンマー取引所開設支援(27日3面)

山洋電気、ジャカルタに事務所
現地調達先の開拓調査(27日6面)

ひと

日本ファンを増やす



「ベトナムの若者はやる気に満ちている」とうれしそうに話すのは、山下ゴム社長の鵜飼脩さん。ベトナムでのR&D拠点開設に向け、日本で研修をスタート。長期休暇には研修生向けに「旅行を計画する」のも楽しみ。きめ細かな活動で日本ファンを増やす。(20日=5面)

ランニングコストも大事



「車両価格の安さは必要条件ではあるが、ランニングコストは同くらい大事」と、ホンダ取締役執行役員青山真二さん。「インドでは燃費が非常に気にされる。オイルやエアフィルターなどの交換頻度も高い。日本を上回るのではないかと分析」。(27日=5面)

ASIA

12月16日(月)

インドネシアで始動 - スマコミ
日本の技術、アジアに展開

インドネシアを舞台に、日本の企業や自治体によるスマートコミュニティーが動きだす。電力の安定供給を支えてきた日本企業の技術を生かした工業団地型を構築する。(深層断面=28面)

ミャンマーと投資協定
日本企業進出を後押し

日本、ミャンマー両政府は、2国間の企業進出を促進するための投資協定に署名した。経済改革の進展で有望な市場として注目されているミャンマーへの日本企業進出の後押しを狙う。(2面)

「環境」で日台連携
T BISC / 建材・機器進出支援

T BISCは、台湾・台北で環境配慮型の建築材料や環境関連機器に関するビジネスマッチングを2014年3月5、6日開く。アジアで製造や販売を展開する台湾企業との事業連携を促す。(14面)

タイ - マレーシア定期運行
日通 / 自動車部品など専用列車

日本通運は、タイ・バンコクとマレーシア・クアラルンプールを結ぶ国際鉄道輸送サービスを始める。専用列車で最大27両分の貨物を輸送。自動車部品などを中心に定期運行。(16面)

インド高速鉄道の調査受注
日本コンサルなど

日本コンサルタンツ、日本工営など3社は国際協力機構の「インド高速鉄道開発計画プロジェクト」の調査業務などを受注。ムンバイ - アーメダバードを結ぶ約500キロの高速鉄道を調査。(16面)

J X、マレーシアで権益取得
サラワク州沖深海3 F 鉱区40%

J X日鉱日石開発は、マレーシアで石油・天然ガスの探鉱鉱区の権益を取得した。マレーシア国営石油会社のペトロナスからサラワク州沖深海3 F 鉱区の40%を譲渡された。(17面)

12月17日(火)

ミャンマー大統領、スズキ訪問
軽自動車工場と展示施設

ミャンマーのテイン・セイン大統領が、スズキの軽自動車工場と展示施設を訪問、同社のクルマ作りや歴史にふれた。鈴木修スズキ会長兼社長が案内し「軽は(国内)市場の4割」と説明。(5面)

台湾で中古車のネット流通
オートサーバー / 東南ア展開

オートサーバーは、アジアでインターネット中古車流通事業を本格化する。台湾の台北市に駐在事務所を設立し、年内にも運営を始める。中国や東南アジアで事業展開を加速する。(5面)

最大の独立系地場銀行・東亜銀行と業務提携した。金融情報の交換、投資信託などで協業。東亜銀行は香港だけでなく、中国本土各地に拠点を展開。(15面)

薬品でライセンス契約。腹膜透析システムの技術情報を供与。血液透析に比べ身体への負担が小さい。(10面)

12月18日(水)

三菱樹脂、深圳に販売拠点
中国製スマホ向け / セパレーター

三菱樹脂は、広東省深圳市にリチウムイオンバッテリー用セパレーターを拡販するための事業所を開設した。中国製スマートフォンなどの生産増加に伴って需要拡大が見込まれる。(13面)

12月19日(木)

腹膜透析、中国社に技術供与
JMS / 身体負担小さく

ジェイ・エム・エスは、山東省の華仁薬業と腹膜透析療法に使う医療機器、医

12月20日(金)

環境装置、中国などから受注
大川原製作所 / アジアで攻勢

大川原製作所は、アジアで環境装置の熱風式乾燥装置と付帯設備を相次いで受注した。中国湖北省鄂州市、インドネシアPTスメルティング、韓国KCFフレッシュから各1台。(6面)

12月23日(月)

新興国用大型トラック中国投入
UDトラックス / 「クエスター」

UDトラックスは、中国で新興国向け大型トラック「クエスター」を2014年4

アルプス電気、インドで生産
車載用部品 / 拠点機能を拡充

アルプス電気は、インドで車載用部品を現地生産するため現地法人を移転し、2014年1月から業務を始める。インドで2輪・4輪市場が拡大しているため拠点機能を拡充する。(9面)

T O A、ベトナムに販売子会社
業務用音響 / セキュリティー機器

T O Aは、ベトナムのハノイに全額出資子会社「T O Aベトナム版社」を開設、2014年3月1日から業務を始める。ベトナム国内での業務用音響機器やセキュリティ機器の販路拡大を狙う。(9面)

日本製紙、タイに合弁
植林・パルプ・紙

日本製紙は、タイ・SCGペーパー社との間で、植林やパルプ、紙などで構成するSCGペーパー社フィブラース事業部門会社にかかわる合弁契約を結んだ。持分法適用会社にする予定。(11面)

千代田化工、シンガポール倍増
石化プラント改造 / 迅速対応要員

千代田化工建設は、東南アジア統括拠点・シンガポール子会社の人員を2014年中に現在比2倍の約1000人に増やす。老朽化した石油化学プラントの改造や運転保守を迅速に手がける体制に。(1面)

12月18日(水)

三菱化学、韓国生産を半減
ポリ繊維原料 / 供給過剰対応

三菱化学は、韓国でポリエステル繊維原料となる高純度テレフタル酸の年産能力を半減する。韓国は年産約180万トンの半分以上を国内に。残る半分は中国に。中国で新増設が相次いだ。(1面)

タイ建機管理・運用会社に出資
アクティオ / レンタル供給拡大

アクティオは、2014年2月にタイの建設機械の管理・運用会社に出資する。株式の40%を約2億円で取得する。レンタル商品の供給拡大を狙う。日系自動車の増産でインフラ整備が活発化。(1面)

タイにスパーサー部品工場
太陽ステンレススプリング

太陽ステンレススプリングは、タイで工場を2014年4月に新設する。初の海外生産拠点となる。ステンレス製のスパーサー部品やプッシュ部品を月約1000万個体制。現地の自動車部品向け。(7面)

三井造船、ベトナム合弁
プラント向けプロセス機器

三井造船は、ベトナムのエンジニアリング企業のUBIタワーと各種プラント向けプロセス機器製造の合弁会社を設立する。付加価値の低い製品をベトナムに移管。特殊品は玉野で製造。(7面)

鋳物、台湾から輸入
木下製作所 / 船用エンジン部品

木下製作所は、台湾から船舶用エンジン部品など鋳物製品の輸入を始めた。鋳物素材から機械加工までを現地化し、為替の円安環境でもコスト優位性を引き出す。10-20%安価になる。(9面)

ミャンマーのガス田参画
三菱商事

三菱商事は、ミャンマーのガス田プロジェクトに参画した。日石ミャンマー石油開発の株式10%をX日鉱日石開発から取得。天然ガスの生産、販売のほか、新たなガス田の探鉱を進める。(15面)

12月19日(木)

即席麺、インドなどを開拓
味の素・東洋水産 / 新興国向け

味の素と東洋水産は、インドとナイジェリアで即席麺事業会社を共同出資で設立する。東洋水産が開発・生産、味の素がマーケティング・販売。即席麺の潜在需要がある新興国を開拓。(3面)

関電、インドネシアLNG購入
年100万ト / 2014年から22年間

関西電力は、インドネシアのタンゲールNGプロジェクト権益保有10社で構成するタンゲールPSC・コントラクター・パーティーズとLNG売買契約。2014年から22年間、年間最大100万ト。(3面)

東光、韓国の車部品向け量産
アンテナコイル / 月300万個

東光は、自動車のパッシブキーレスエントリー向けで体積で約30%削減した受信用アンテナコイルを開発、2014年6月に量産を始める。韓国の自動車部品で採用。月280万-300万個。(9面)

タイでPLMクラウド版
日系製造業向け / NEC

NECは、製品技術情報を統合管理するPLM「オブリガート」のクラウド版をタイで発売した。電機・機械や自動車・部品などの日系製造業が中心。月額7万5000円から。(9面)

12月20日(金)

ベトナム薬卸に出資
オリックス / ドリームインキュベータ

オリックスとドリームインキュベータは共同で、ベトナムで製薬卸や薬局を展開する持ち株会社のサンテドに出資。出資比率は約25%。人口増加や所得水準の向上で医薬品市場が拡大。(1面)

住商、ミャンマーで保守・整備
日野自トラック・バス

住友商事は、ミャンマーで日野自動車製のトラックとバス向けの正規サービスステーション事業を始める。同国の財閥SPAグループと合弁会社を設立し、ヤンゴン市内で保守・整備業務。(3面)

ガルード航空と共同運航
ANA / マイレージも連携

全日本空輸とガルード・インドネシア航空は、共同運航を含む包括提携を締結した。マイレージプログラムでも連携する。日本では千歳や名古屋など最大11路線の乗り継ぎができる。(13面)

12月23日(月)

産業交流・技術提案 - 熱く
インドネシア産業交流展

「インドネシア・ジャパンエキスポ」